

3. 学生支援プログラム

(1)経済的支援制度

本拠点に集うDC学生が勉学、研究に打ち込めるよう、経済的にバックアップすることを目的として、下記に示す種々の学生支援制度を実施している。

・リサーチアシスタント(RA)制度

グローバルCOEプログラム予算により、DC学生を各事業担当者である指導教員のRAとして雇用し、経済的支援を行うことを目的とする。月額14万円を支給するこの制度を、平成20年度は5名、21年度は7名のDC学生に適用した。

・COE大学院学費免除制度

近畿大学予算によりDC学生の授業料を全額免除する制度を設けた。平成20年度は5名、平成21年度は14名の学生にこの制度が適用された。また、本拠点では同様にMC学生の授業料を半額免除する制度を設けており、平成20年度は11名、平成21年度は17名のMC学生に適用した。

これら学生の選抜に当たっては、まず(1)これまでに行った研究の概要と次年度計画、(2)研究業績、(3)トイックの成績証明書、(4)指導教員の推薦書を提出させる。この提出書類を基に、拠点リーダー、事業推進担当教員、農学研究科各専攻幹事からなるCOE学生支援委員会で選考を行い、その候補者を農学研究科長が推薦し、学長が最終決定を行うシステムで運営している。

・大学院奨学金制度

近畿大学予算により、DC学生の中で特に優秀な学生に対し、月額10万円を支給する制度を設け、2年間で延べ4名の学生が適用を受けた。

この他、留学生には安価な居住施設として次項で述べる国際交流センター(農学研究科)や近畿大学セミナーハウス(水産研究所)等を整備し、勉学に打ち込める体制を整えている。

(2)国際交流センター

外国人留学生・研究者用の国際交流センターとして、民間の管理人がいる食事付き宿泊施設であるドルミール学園前と契約し、2009年1月に「ドルミール」を設置した。

設置の目的

ドルミールは、本学のグローバルCOEプログラム教育並びに学術研究に係る国際交流の促進に資するため、外国人留学生(以下「留学生」という。)及び外国人研究者の居住、その他国際交流上有意義と認められる者の利用に供することを目的とする。

(ドルミール規程 第2条)

施設概要(ドルミール)

(1)住所

奈良市学園前南 3-13-14

(2)契約部屋数

5室(8畳洋室・全個室)

(3)各部屋設備

ベッド, 机, 椅子。ユニットバス, 冷暖房完備, クローゼット

(4)共同設備

ラウンジ, 食堂, 共同炊事場, 洗濯機, 乾燥機, 冷蔵庫, 駐車場(有料)

(5)ゲストルーム

居住者の家族の宿泊が可能

(6)食事

希望により平日の朝食, 夕食

部屋数

現在は5部屋を契約しており、入居希望者数に応じて部屋数は変更可能である。

入居資格

(1)本学の博士後期課程に在籍しグローバルCOEプログラムに関わる留学生

(2)本学においてグローバルCOEプログラムの教育研究に従事するため、本学が受け入れた外国人研究者

(3)本学においてグローバルCOEプログラムの教育研究に関わる博士後期課程学生, 研究者

(4)その他館長(グローバルCOEリーダー)が適当と認める者

(ドルミール規程 第8条)

入居者

現在は、ドイツ人ポスドク1名、マレーシア人博士課程学生2名が入居している。その他、これまでにバングラデシュ人ポスドク、韓国人ポスドクも2~4ヶ月入居していた。その他、空き部屋については、グローバルCOE研究員の一時使用も随時行っている。

使用料

(1)留学生の寄宿料は月額1万円とする。

(2)研究員(研究者)の使用料は月額4.5万円とする。

(3)一ヶ月以内の宿泊については、学生は日額400円、その他は日額1500円を支払うこととする。

(ドルミール規程 第11条)



図1 ドルミール外観(入り口)



図2 ラウンジと食堂



図3 個室前の廊下